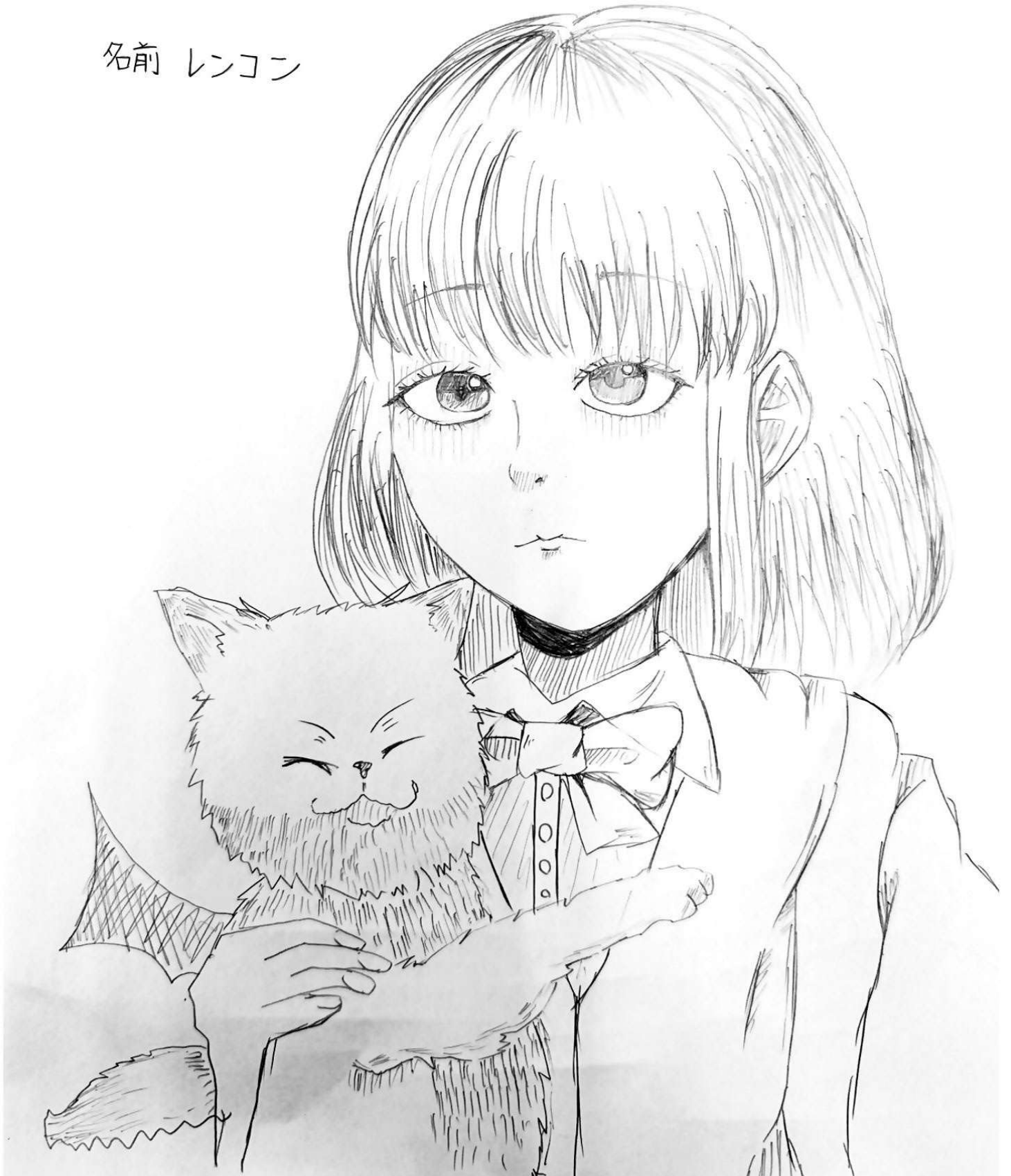
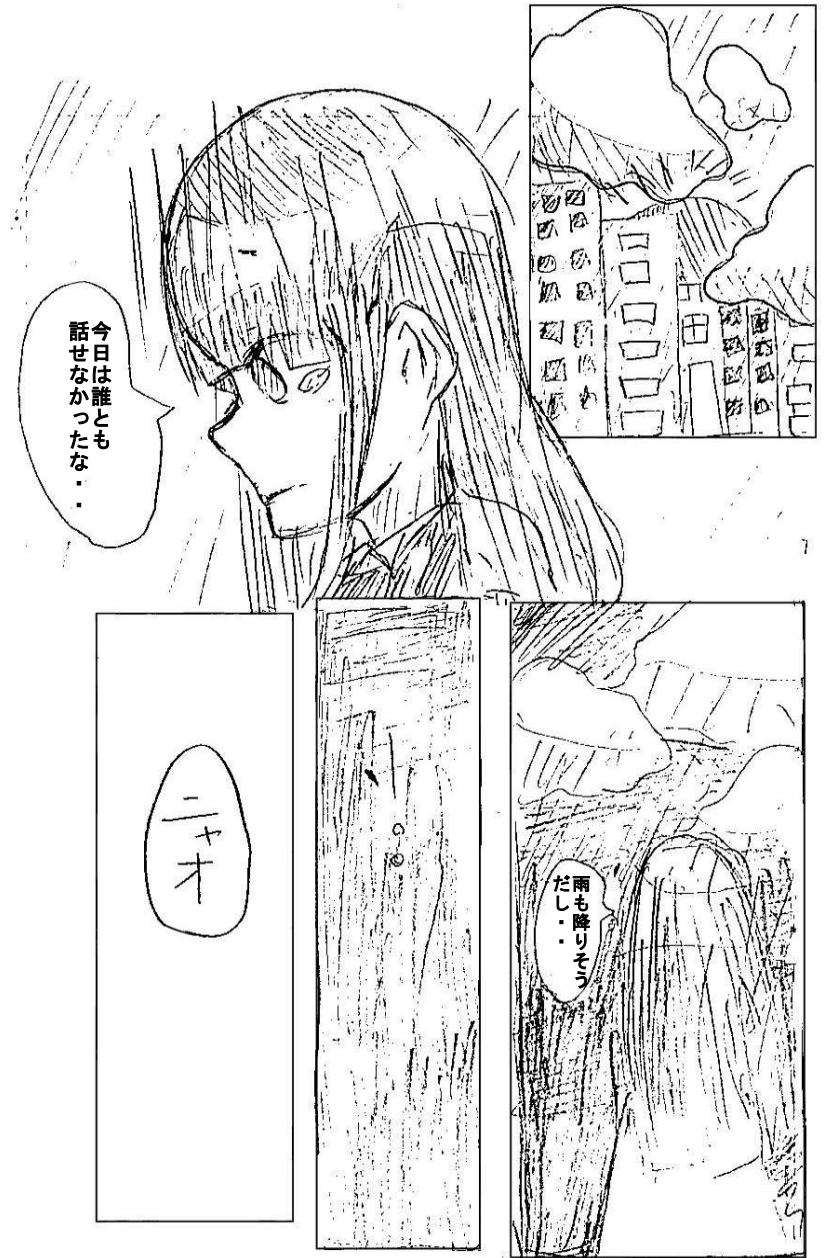
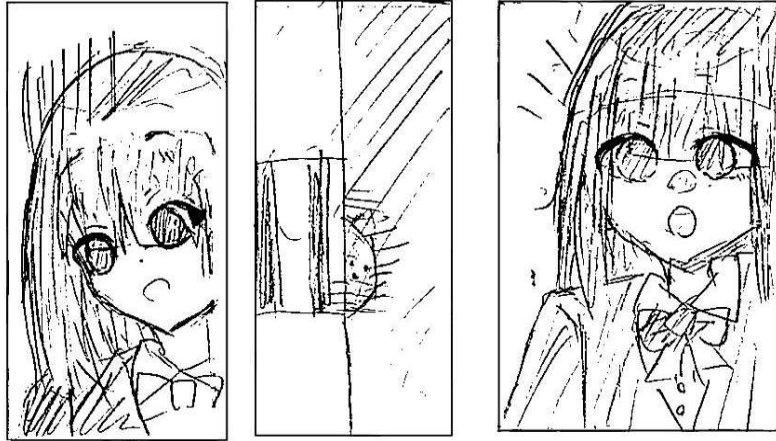
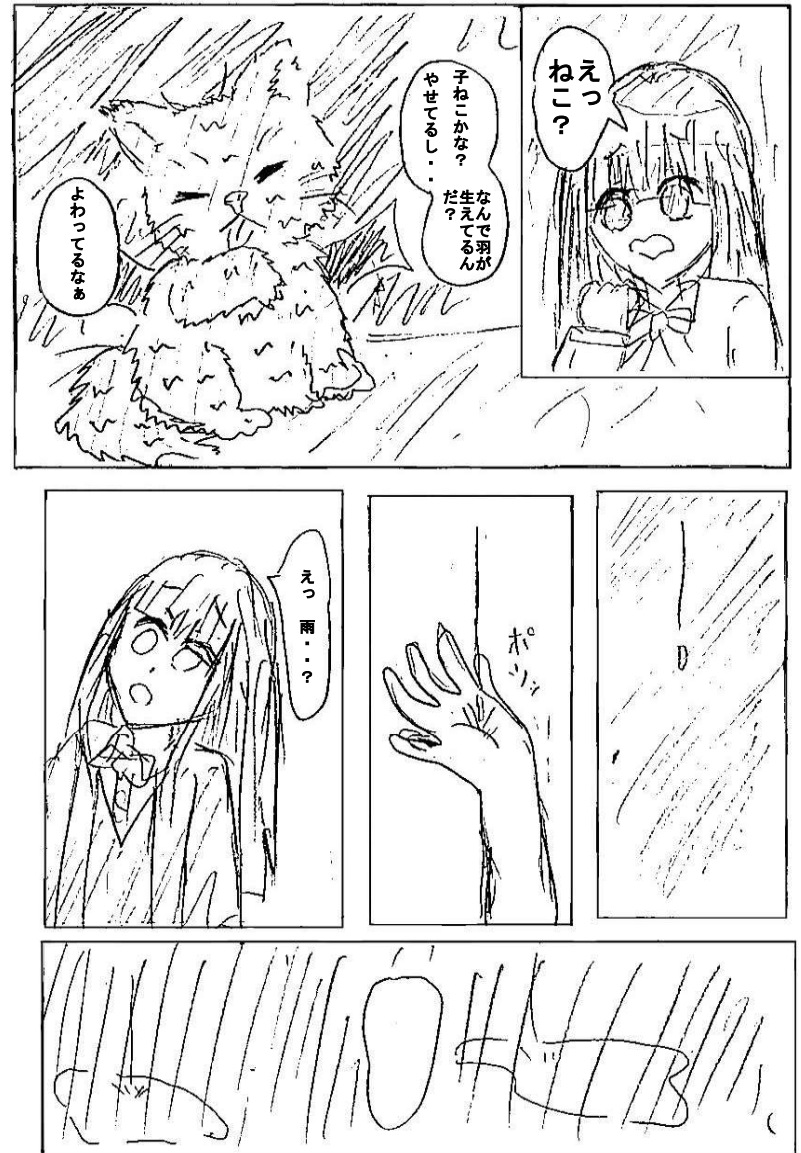
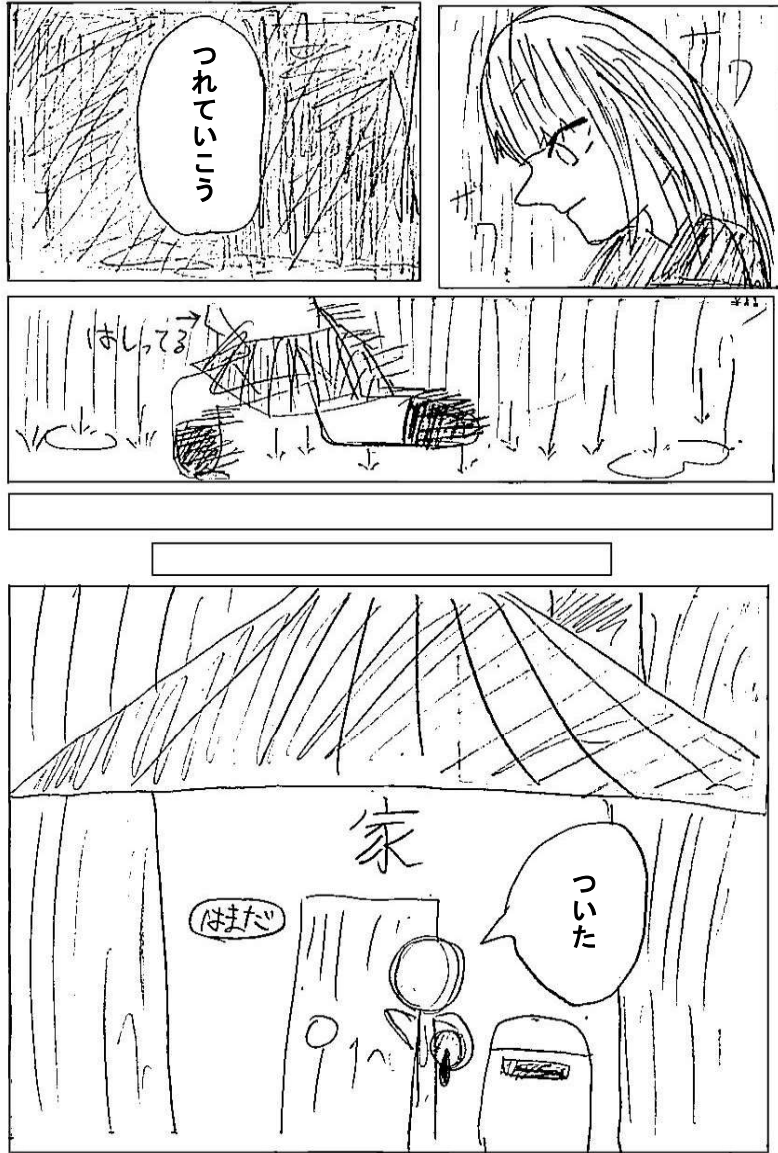


りんとねこ

名前 レンコン

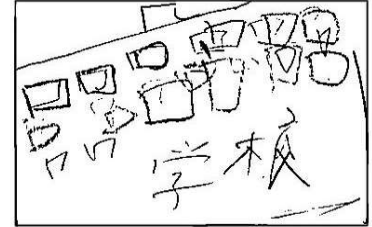
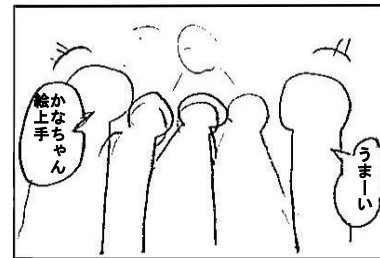
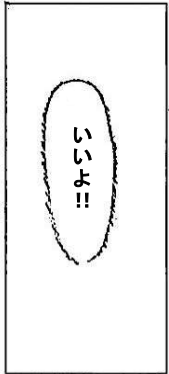
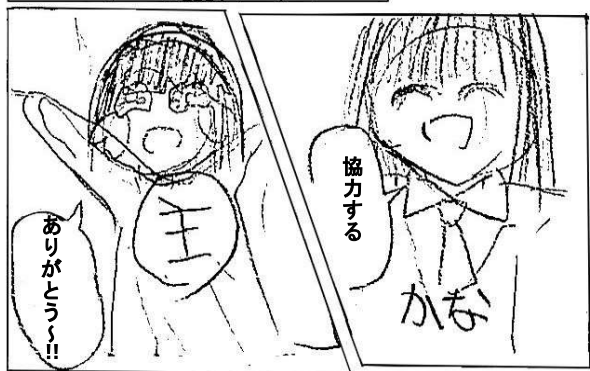
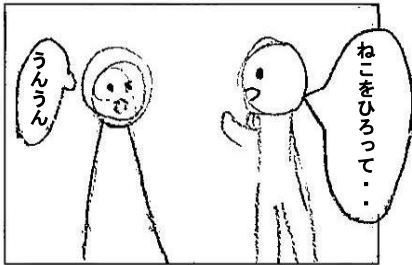


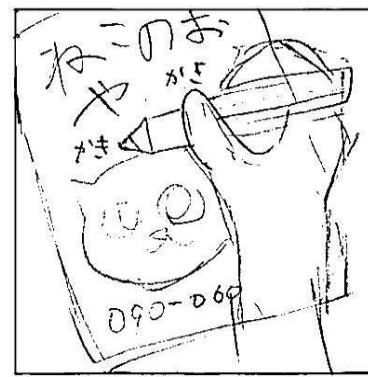
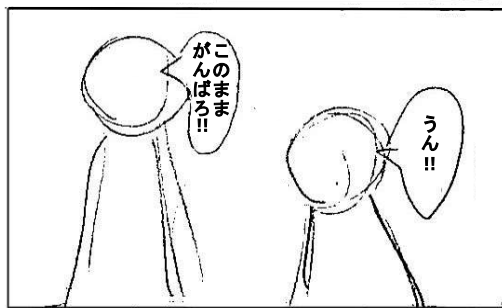
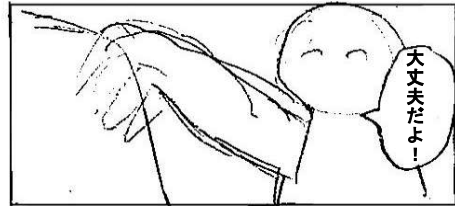


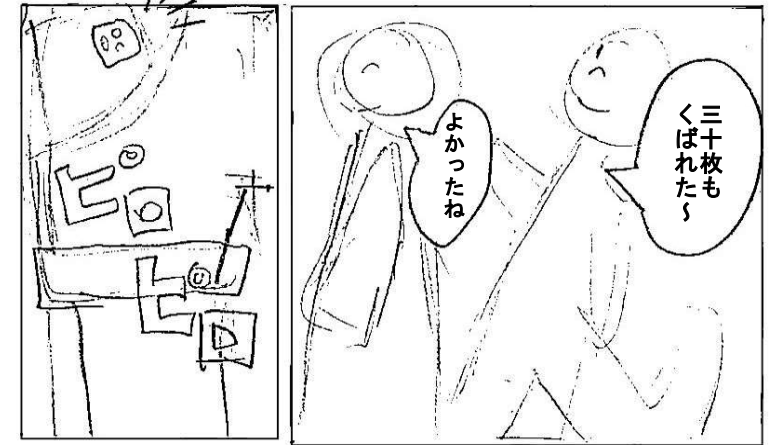
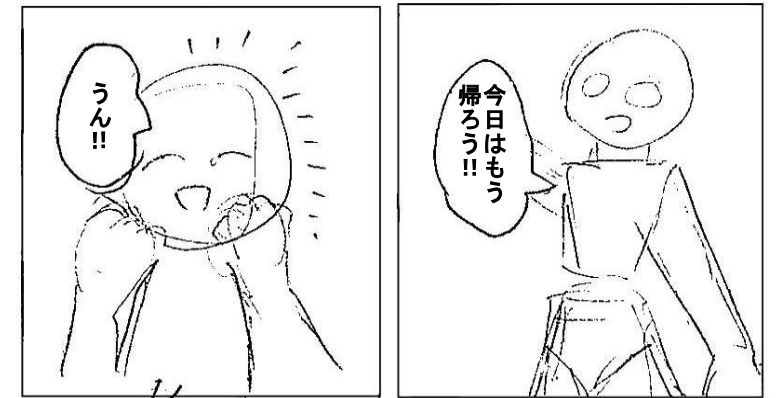
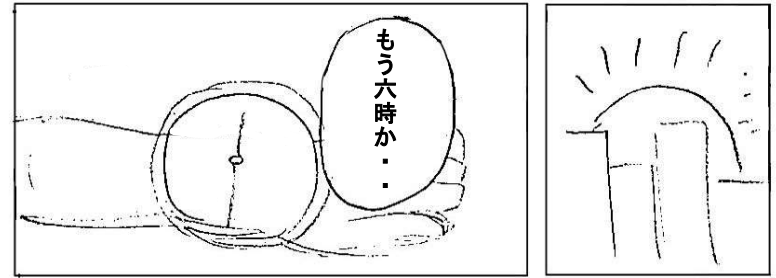
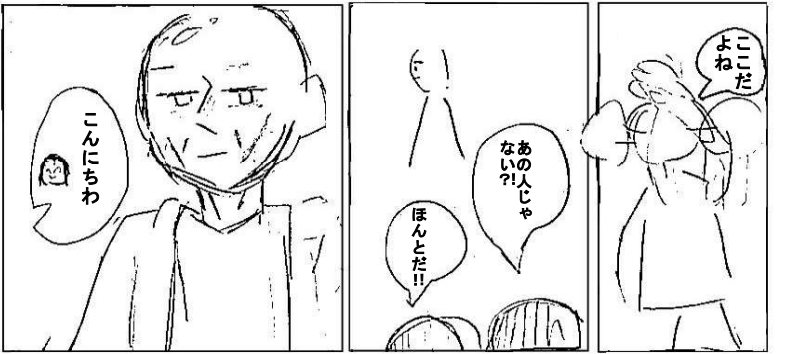
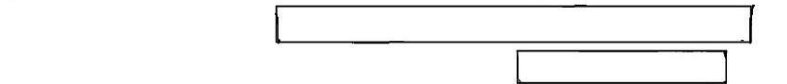
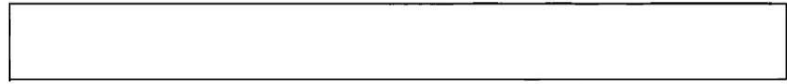


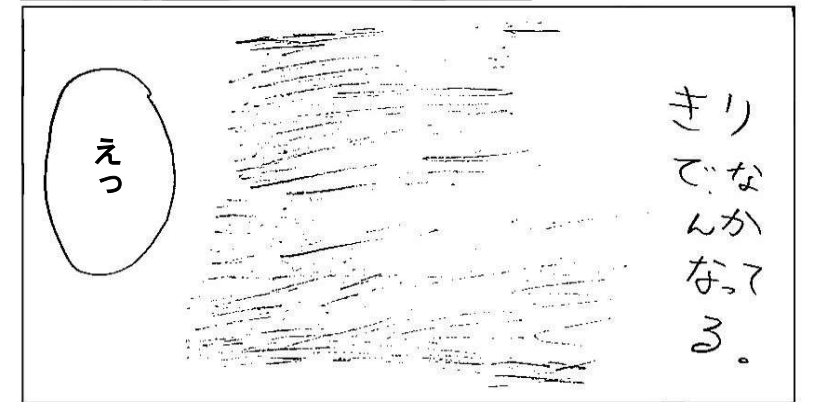
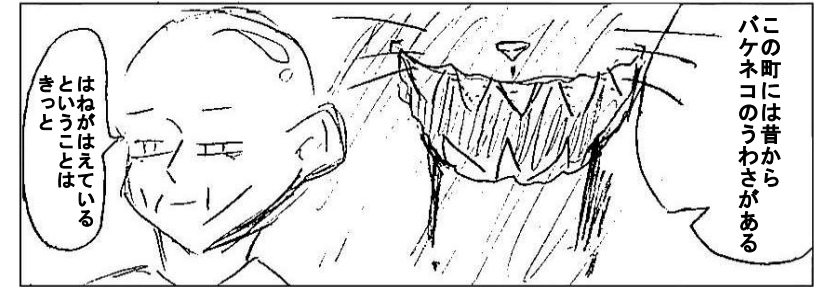
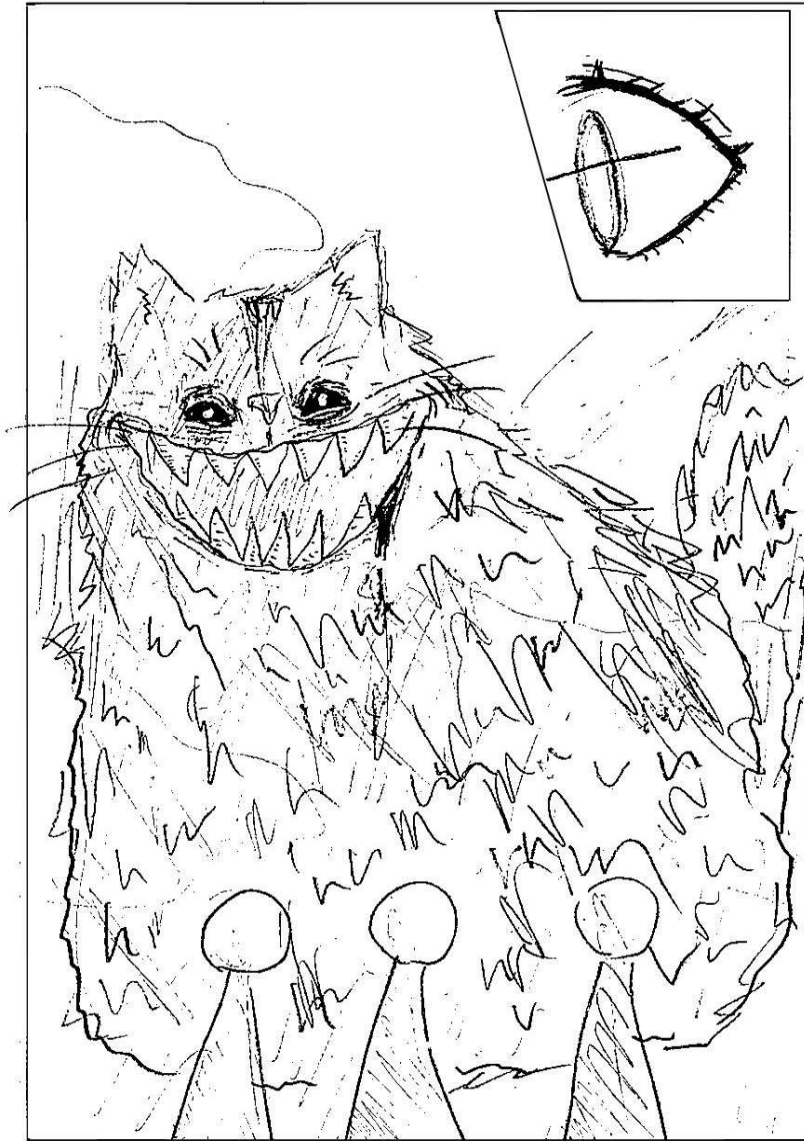


キーンボン











福田素子先生の講評

迷子猫を女の子が拾って助けてあげる過程で苦手な人と関わることをする主人公～というほほえましい展開がオチの数ページで読んでいる人は「えっ？」となると思うところで主人公はニッコリ「よかった」となる意外性は面白いです。背景描写や「間」はかなり意識して描いていると思いました。

